

はじめに

前著「働く女性の英語術」が大きな反響をいただいたことを受け、「働く女性の英語術—2nd Season」がここに誕生することになりました。「女性と仕事」「英語とコミュニケーション」というテーマで引き続き執筆する機会をいただきましたことを、心から嬉しく、光栄に思います。

前著と同様、本書でもたくさんの方の力をお借りしました。特に、本書にアルファベットで登場する6人の女性たち（お二人のAさん、Iさん、Hさん、Wさん、Mさん）と、米国の建築会社で2回のインターンを経験している娘の藍は、忙しい時間を割いて著者のインタビューに丁寧に応じてくれ、詳細な情報や体験談を提供してくれました。彼女たちの貢献なくして本書は書き得なかったと言っても決して過言ではありません。また、近藤忠義さんと柴田真一さんは、Keri's Interview に登場することにより本書に花を添えていただいたばかりでなく、著者の些細な質問に対しても、的確なアドバイスを常に迅速に提供してくださいました。心からお礼申し上げます。

すべてのお名前を挙げることはできませんが、中国に関する最新情報を提供してくれたビジネスマンの方たち、今回も英語表現において数々のアドバイスをくれたデイビッド・パーマーさん、ユニークなエピソードを提供してくれた東京外国語大学の同僚たちにも心から感謝します。また、今回は、夫の昭男が積極的に本書のビジネス面の校閲を引き受けてくれました。前著でも申しあげましたが、息子も含めた3人の家族の応援があつてこそ、短期間で本書執筆が可能になったということも一言つけ加えておきます。

最後に、前書に引き続き、同じ女性という立場から、情熱を持って全力で本書の実現に取り組んでくれたジャパンタイムズの佐藤さやかさん、および出版編集部・出版営業部のみなさん、多くの読者に本書を届けるよう励んでくださっている書店営業チームのみなさん、そして誰よりも、読者のみなさんに感謝の気持ちを捧げます。

2009年5月

著者

Index

はじめに	3	UNIT 14 プロジェクトの説明を受ける	116
Introduction	7	UNIT 15 上司に叱られる	120
Chapter 1 準備編 レジюме(履歴書)とカバーレター	33	UNIT 16 コーヒーラウンジで	124
UNIT 1 就職先を探す	38	UNIT 17 依頼のEメールを書く	128
UNIT 2 応募への準備	42	UNIT 18 上海に電話	132
UNIT 3 面接の連絡が来ない!	56	UNIT 19 社内会議(1)	136
UNIT 4 Eメールで問い合わせ	60	UNIT 20 社内会議(2)	140
UNIT 5 面接決定の連絡	66	UNIT 21 NYへ出張	144
		UNIT 22 バーで仲間と	148
		UNIT 23 出張当日	152
		Keri's Interview Part3	156
Chapter 2 面接編 海外企業のインタビュー	73	Chapter 4 業務編 社外プレゼンテーション	159
UNIT 6 入社面接(1)	76	UNIT 24 出張先で	174
UNIT 7 入社面接(2)	80	UNIT 25 プレゼンテーション(1)	178
UNIT 8 入社面接(3)	86	UNIT 26 プレゼンテーション(2)	182
UNIT 9 入社面接(4)	90	UNIT 27 プレゼンテーション(3)	186
UNIT 10 入社面接(5)	94	UNIT 28 質疑応答	190
UNIT 11 合格通知	98	UNIT 29 勤務評定	194
UNIT 12 合格祝い	102	UNIT 30 新しい門出	200
		Keri's Interview Part4	204
Chapter 3 入社編 社内コミュニケーション	109		
UNIT 13 仕事はじめ	112		

□本書を読まれる女性のみなさんへ

前著「働く女性の英語術」に引き続き本書を読まれる方と、はじめて本書を読まれる方がいらっしゃると思います。ひょっとして男性の読者もいらっしゃるかもしれません。「働く女性」をターゲットにしていますが、現在は学生や主婦で、将来に備えて勉強したいという方、また言語・文化的な興味から本書を手に行っている方もいらっしゃるかもしれません。

前著と同じく、本書では、「英語のビジネスコミュニケーションで大切なことは何か？」ということに最大の焦点を当てています。ただし今回は、前著よりさらに実践的な内容を取り上げました。姉妹編ということですが、前著が妹だとしたら本書は少し年上のお姉さん編だと思っていただければよいでしょう。舞台は、東京の出版社からロサンゼルスのある建築会社に移ります。

今回もまた、取材の一環として、何人かの働く女性にインタビューを行いました。今回は、まだ外国人とのコミュニケーションに慣れていない、従ってさまざまな問題をどう解決してよいかかわからない女性が多かったのですが、今回は、外資系や海外の日系企業ですでに活躍している女性

たちを中心に話を聞きました。

驚いたのは、外国人とのコミュニケーションを楽しみ、たとえ言語や文化の違いから生じるトラブルがあろうと、案外スムーズにかわしていらっしゃる方ばかりだったということです。申し上げておきますが、全員が帰国子女や元留学組ではありません。入社時に必ずしも全員英語が堪能だったわけではないのです。

女性は語学力とコミュニケーション能力、チームワークへの適応性や協調性が極めて高いことを指摘する人は多いですが、それは、今回のインタビューで著者も強く感じたことです。また、「女性としてのハンディがあるか、差別があるか？」との質問にも、彼女たちは、「ほとんど感じたことはない。ハンディもないが、逆に女性だからと言って優遇されることもない」と答えました。

これに関しては、「それは違うのでは？」という意見もあるかもしれません。女性が男性上司より肩書きや立場が低い場合は、要領の悪い男性部下よりも可愛がられる傾向があります。その女性が有能かどうかとは別に、女性は若いうちは「職場の花」というような昔からの考え方は現代でもあまり変わっていません。ところが、地位が向上し男性の立場を脅かすようになると、今まで寛容だった男性が豹変し、女性に対して厳しくなることがあります。英語にも glass ceiling（見えない天井）という表現がありますが、男女平等が進んでいる米国でも、大会社のトップはほとんどが男性であるということを見てもおわかりのように、女性

Unit 1 就職先を探す



金曜日の夜、ミカはインターネットで建築関係の就職先を探している。家主のジェシカが仕事から戻る。

Jessica : Hi, Mika. I'm back. How's your **job hunting** going?

ミカ、ただいま。就職活動はうまく行ってる？

Mika : I've been **browsing the Internet** for a few hours. There are several firms that look like **a good fit for me**.

2, 3時間ネットで探しているんだけど、私にぴったりの会社が見つかりそう。

J : Great.

よかったわね。

M : Of all the firms I've had a look at, I'm most interested in Banner Architects. They are recruiting staff and **summer interns** for their latest project.

それらの中ではバナー・アーキテツ社がいいなって思っているの。新規のプロジェクトのためにスタッフや夏のインターンを探しているみたい。

J : I've heard of them. Aren't they in LA?

その会社の名前、聞いたことあるわ。LAにあるの？

M : Actually, they're in Santa Monica. I want to send them my **application** right away. They have a good reputation based on their **sustainable approach to design**.

正確には場所はサンタモニカよ。応募書類をすぐ送るつもり。環境にやさしいデザインアプローチを取り入れていることで有名なの。

J : It'd be great if you could get a job with them, even an **internship**.

その会社に受かるといいわね。インターンでもいいしね。

M : Yeah, it would. I want to get involved in **real-world architectural design**.

そうなるって嬉しいんだけど。本物の建築デザインに関わりたいの。

J : Your chances are pretty good, Mika. You've already had some professional experience in Japan, haven't you? Well, good luck.

可能性はかなり高いと思うわよ、ミカ。日本の建築事務所で働いた経験もあるのよね？

とにかくうまく行きますように。

M : Thanks. I'll keep my fingers crossed.

ありがとう。合格するように神様をお願いするわ。

Useful words and expressions

job hunting	就職活動
browse the Internet	インターネットでいろいろなサイトを見る
a good fit for...	~にぴったりの
summer intern(s)	夏期だけ働くインターン（米国は夏休みが長いのでその間インターンをする学生が多い）
application	応募書類
sustainable approach to design	サステナビリティの概念をデザインに取り入れるアプローチ（サステナビリティとは、もともとは「持続可能性」という意味だが、広く一般的には「環境保全と健康な人間生活に配慮する」という意味でよく使われる）
It'd be great if you could...	~できたら素晴らしい
internship	インターンシップ
real-world architectural design	（学校で学ぶのではなく）プロとしての建築デザイン
Your chances are pretty good.	「（合格する）可能性がかなり高い」
I'll keep my fingers crossed.	「神様、どうぞうまく行きますように！」アメリカ人は願い事をする時におまじないとしてこう言う

POINTER

最近では、インターネットで何もかも検索できるようになり、たいへん便利になりました。グーグルを使えば、会社情報の詳細やアクセス、会社およびその周辺の様子を写真で確認することもでき、事前にかんがりの情報を得ることができます。ミカの場合、“Architectural firms in LA”などと入力して検索し、かなりの数の会社情報を得ることができたことでしょう。

興味がある会社の名前がすでにわかっている場合は、その会社の名前を入力して検索するのが手取り早い方法です。日本にある外資系企業の場合、日本語でも簡単にアプローチできますので、企業名を入れて検索してみてください。そこで、その会社のプロフィール、企業理念、業務内容などの全体像が把握できます。次に、「採用情報」（英語では Careers）と書かれたセクションに進むと、新卒か中途採用かに分かれ、それぞれの採用条件や応募規定などを見ることができます。

海外の企業に直接コンタクトをとりたい場合も、内容が英語のみで書かれていること以外は、上記とほぼ同じです。企業によって応募手続きの方法は異なりますが、たとえば、ある金融企業の場合、企業のウェブサイトから Careers に進むと、次に希望職種を選択することになります。アナリスト職（Analyst position）を希望する場合、そこをクリックすると、国別の採用情報を閲覧することができます。正社員（Full-time）、夏期インターンシップ（Summer）の別も明記されており、そこをさらにクリックすると、自分が希望する職種の採用情報にたどり着けます。（ただし、Careers を選択した後の進行手続きは、職業、企業によってそれぞれ異なります。経験の度合によって、New と Experienced とにエントリーが分かれている場合もあります。明記されている指示に従って順次手続きを進めてください）

各企業のウェブサイトは、デザイン性も高く、それぞれの特徴がよく表れたサイトになっています。本書で取り上げた建築会社の場合は、今までに手掛けた建築プロジェクトなどがすべて写真で掲載されていることが多く、デザインの特徴、センスなどを確かめることもできます。ウェブサイトは企業の雰囲気や現在の状況などを知る手掛かりになるので、細かくチェックしましょう。